

区 の 取 組

小学校のUD出張講座

UD出張講座では、学校からの依頼を受け、主に4年生の総合的な学習の時間に区民の協力者や区の職員で小学校に訪問し、パワーポイント等を使用してUDのまちづくりに関する授業を行っています。せたちちと一緒に学びたい小学校や、協力したい区民の方は都市デザイン課までご連絡ください。

小学校のUD出張講座の様子



世田谷区UD推進計画

平成21(2009)年の策定以来、現在第2期の後期計画が実施されています。計画の目的は「すべての区民が個人として尊重され(中略)誰にとっても利用しやすい生活環境の整備を推進していくための具体的な計画」です。そのために「誰もがユニバーサルデザインの視点と心でまちづくり」を目指すことを掲げ、目標1「公平な社会づくり」「目標2「ユニバーサルデザインのまちづくり」」「目標3「区民参加でまちづくり」を掲げています。またユニバーサルデザインのまちづくりを推進する「25の施策・事業」を定めています。



UDサポーター

世田谷区では昭和57(1982)年から、やさしいまちづくりに取組み、計画づくりには障害のある方をきむ区民参加が行われ、現在に引き継がれています。

今後は「UDサポーター」の制度を立ち上げ、区民募集を行い、より一層多様な区民の方と共にUDの取組を行う予定です。



令和元年度UDワークショップの様子



んだり、区が主催するUDのまちづくりに関するワークショップでまち歩き点検やマップ作りなどに参加いただきながら交流し、多様なニーズに応えるためのハード・ソフト両面におけるUDの環境整備について、理解を深めていただきます。

これら体験を生かして、小学校のUD出張講座で授業のお手伝いやUDスタイルの編集、区の事業に対する意見聴取等の場で活躍していただきます。

「UDサポーター」の実際の取組は、令和3(2021)年度からスタートする予定です。

「世田谷UDスタイル」第7号 アンケート

- Q1 おもしろかった記事はどれですか、1つ選んでください。
- 都立松公園(みんなのひろば) (P02-04)
 - UDの公簿まちづくり(梅田先生インタビュー) (P05)
 - 海事公園わいわいUD散歩 (P06-07)
 - 区立二子玉川公園 (P08)
 - 梅田周辺のやさしいまちづくり (P09)
 - 区の取組 (P10-11)
 - UDの本紹介 (P10-11)
- Q2 UDを広めていくためにはどの取組が効果的だと思いますか、3つまで
- 都立松公園(みんなのひろば) (P02-04)
 - UDの公簿まちづくり(梅田先生インタビュー) (P05)
 - 海事公園わいわいUD散歩 (P06-07)
 - 区立二子玉川公園 (P08)
 - 梅田周辺のやさしいまちづくり (P09)
 - 区の取組(小学校のUD出張講座) (P10-11)
 - 区の取組「世田谷区UD推進計画」(P10-11)
 - 区の取組「UDサポーター」(P10-11)
 - UDの本紹介 (P10-11)
 - その他か
- Q3 冊子をどちらでもお知りになりましたか。
- Q4 UDを進めていくために必要な取組や記事があれば教えてください。
- Q5 世田谷区のUDの取組について、今後区民の方が参加可能なイベントや講座情報の取組を下記の欄に以下のチェック欄にチェックをお願いします。またメールアドレスを教えてください。メールアドレスはが電話でお知らせします。
- 希望する メールアドレス: @
- Q6 その他ご意見がありましたら、教えてください。

ご意見を
お聞かせください。



「世田谷UDスタイル」第7号はいかがでしたか? 皆様のご意見を活かして、より魅力的なユニバーサルデザインのまちづくりを進めていくために、アンケートにご協力ください。回答は上のはがきにご記入ください。

ご返信いただいた方、全員に素敵なプレゼントをお送りします。(プレゼントの内容は裏面をごらんください)

- *ご記入いただきました個人情報は、プレゼントの発送や都市デザイン課からのご案内以外で使用いたしません。
- *プレゼントの応募締切は令和3年4月30日(必着)です。
- *アンケートはプレゼント応募締切後も受け付けています。



「新しい心のバリアフリーずかん」
◀「だれもがくらしやすい社会」を実現するために、社会によって生み出されたバリアや、自分の心のバリアに気づき、考え、行動することを「心のバリアフリー」と言います。当事者の声を聞き、困っている人を見かけたときに、だれもが行動を起こせるようなヒントや実践例を掲載しています。(監修/中野崇志 ほか出版 2018)



「すべての子どもに遊びを」
◀今、障害の有無を問わずあらゆる子どもが自らの力を生き生きと発揮して共に遊び学べるユニバーサルデザインの遊び場が求められています。地域のさまざまな大人たちが子どもの成長を見守り支え合えるような公園づくりを通して、インクルーシブな社会づくりの重要性を説いています。(みんなの公園プロジェクト編著 明文社 2017)



「さっちゃんのみほうのて」
◀先天性四肢欠損という障害を負って生まれたさっちゃん。みんなとは違う手の形で幼稚園の友だちとけんかしたり、傷つくこともあり。それでも、さっちゃんは右手の指がないという障害を受け入れ、力強く歩き始めます。(共同制作/たばたせいち、先天性四肢障害児父母の会、のべあさこ、しざわよこ 他出版 1985)

UDの本紹介